



(一社)群馬県計量協会  
会長 横田 貞一

## 迎春

2023年 新年のご挨拶



皆さん、新年あけましておめでとうございます。皆様にはご健勝のこととお慶び申し上げます。まずはこうして無事に輝かしい年を皆さんと迎えることが出来、心から感謝とお礼を申し上げたいと思います。

ロシアによるウクライナ侵攻は、長期化してきており、未曾有の災禍となりました。力による露骨な現状変更が行われ、国際社会が維持してきた平和的な秩序が誰の目にも明らかに蹂躪され、揺らぎ始めております。北方領土問題でロシアと、尖閣諸島をめぐる中国と対立し、北朝鮮のミサイル発射という威嚇にさらされる日本にも大きな衝撃を与えました。ロシア、中国、北朝鮮と近接する日本の「地政学上のリスク」も認識され中国の侵略的野望がより露となりました。

ウィズ・コロナの社会において、コロナ感染拡大は高止まりとなっており、終息する気配がみえません。為替変動、先行きの経済への不安もあり、停滞した我が国の経済はおおなる混乱期に入っております。特に、最近、国際社会の中で国家安全保障を確保するカギとして、経済上の手段を用いる動きが先鋭化しており、経済安全保障上、先端技術の流失防止策、レアアースなど戦略物資の供給網の強靱化を果たしていくことが我が国の喫緊の課題として浮かび上がってきています。

一方、混乱の中でロシアに対しての制裁執行など様々な規制強化による経済活動は、取引の連鎖の末端に繋がる地域経済を底支えしてきた周辺中小企業の崩壊を招くことになるなど思わぬ余波となり大きな打撃を受ける懸念が指摘されています。

この様に社会情勢が刻々と変化する中で、原油価格の高騰もあり、高止まりしている資材の調達コストと納期遅延等々偏りのある連鎖のリスクに、統廃合、再配置の動きも加速し、見直し等々もある中、地域の零細企業、中小企業は、大きな痛手となり、合理化を進めるにしても、業務のデジタル化の遅れもあり、人手不足等々も加速し、人的資源に乏しい事もあり、対応に苦しんでいます。

群馬県計量協会では、懸案の「100周年記念事業等々」を滞りなく施行する事が出来ました。協会の皆様のご協力に感謝申し上げます。資料等々の整理も、この機に整える事ができました。

協会のこれからの在り方並びに課題等々に対する認識も深まり、様々な検討がなされる事に繋がりました。

関東地区の計量団体ブロック会議も装いを新たにし、昨年埼玉大会から再出発しております。

当協会の他の委託事業等々についてはお陰様で、滞りなく進捗を果たしており、職員各位並びに会員各位には、一方ならぬご支援ご協力を賜り、誠に有難うございます。取引証明に関わる特定計量器の定期検査の更なる充実と計量思想の普及啓発は、重要であり、こうした県ご当局からの委託された事業については、確実に執行され、順調に推移しております。

更に、計量器使用事業所、ものづくりの現場で要求されている品質管理においても、計量・計測の普及啓発の計量計測基礎講座の充実が求められており、その重要性は言うまでもありません。はかる事からものづくりが始まります。世界の標準規格、産業界の規格、JIS等々さまざまな規格からの要求に応える手順と技術・技能が求められる事になります。

群馬県のものづくりを支える中小零細企業にとって、系統だった計量・計測管理の手順の取得と理解が不可欠となりますが、基盤技能の継承は容易な事ではありません。ものづくり基盤に寄与する事業となります基礎講習会を当協会が公益事業とし、継続して開催してきておりますことも改めて、ご報告させていただきます。

皆様にとりまして今年が良い年でありますようにご祈念申し上げ、言葉整いませんがご挨拶とさせていただきます。

協会の運営にご協力ご支援を賜り有難うございます。



## 新年のご挨拶

群馬県計量検定所  
所長 長谷川 裕之

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は、横田会長をはじめ群馬県計量協会の皆様には、当検定所の業務運営に多大な御理解、御協力を賜り、皆様のお力添えのおかげで、晴れやかに新しい年を迎えることができました。心から御礼を申し上げます。

昨年は、新型コロナの感染の波が上昇、下降を繰り返す中、ロシアのウクライナ侵攻、サプライチェーンの混乱、原油や原材料費の高騰及び歴史的な円安による輸入品の値上がりとこれらに伴う物価上昇など、我が国をはじめ世界各国が大きな不安と経済的苦境に見舞われました。新型コロナの感染収束は未だ見通せないものの、ウイルスの特性やこれまでの感染防止対策の効果を踏まえ、政府や各自自治体では、感染防止対策を継続しながら、行動制限の大幅な緩和、訪日観光客の受入再開、観光需要喚起の呼び水として期待が寄せられた全国旅行支援の推進など、経済を回す方向に大きく舵を切りました。当検定所においても、コロナ禍により縮小を余儀なくされた業務を通常に戻すことができました。

さて、新たな年がスタートしました。当分の間、“withコロナ”を前提として社会経済活動が展開されていくと思いますが、現在の社会は、未知のウイルス「新型コロナ」の出現とその対応に見られるように、前例や経験に頼っていたのでは容易

に正解を導き出すことのできない事案が増えるなど、先行き不透明で舵取りが難しい状況に直面しています。そのような中、コロナ禍を契機として仕事や生活でのデジタル活用が急速に進展するなど、「ニューノーマル」という現象が、社会の仕組みや生活の在り方を大きく変えようとしています。そして、群馬県では、ニューノーマル社会への転換という流れを踏まえ、デジタル化の推進を県政の主要な柱に据え、様々な分野でその実現に向け取組を進めているところです。

技術の進歩や社会の動向などに応じて制度も見直されていきますが、我が国の近代化を後押しし、長きにわたり安心な暮らしと公正な経済活動を確保する役割を果たしてきた計量制度は、その根幹は維持しながら、これからも重要な社会基盤として運営されていくものと確信します。

当検定所といたしましても、関係機関と緊密に連携しながら、引き続き、計量制度の適切な運営、効果的な計量行政の推進に努めて参ります。協会の皆様におかれましても、なお一層の御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、一般社団法人群馬県計量協会の益々の御発展と、協会の皆様にとりましてこの一年が素晴らしい年であることを心から祈念し、新年のあいさつとさせていただきます。



# 平和衡機株式会社



JCSS  
JCSS 0199

- 計量器の製造・修理・卸・販売
- 計量器の検査・検量・校正
- 分銅・おもり・はかりのJCSS校正
- 計量システムの設計・開発

当社校正室は、国際MRA対応JCSS認定事業者で、0199は当社校正室の認定番号です。

本社 群馬県高崎市問屋町3丁目5番地5  
工場 群馬県高崎市大八木町611番地  
URL <http://www.heiwakouki.co.jp>

TEL : 027-362-3351 (共通)  
FAX : 027-361-3412 (共通)  
Mail : [heiwa@heiwakouki.co.jp](mailto:heiwa@heiwakouki.co.jp)

## 令和4年度事業の中間報告

本年度事業は、第7波の新型コロナウイルス感染が7月～9月にかけてかつてない規模に拡大しましたが、事業の実施に影響を及ぼすことはなく、主要事業であるはかりの定期検査をはじめとした委託事業は滞りなく進捗を果たしてきております。

また、「ものづくり群馬」の基盤技術を支える上で、重要な公益事業と位置付けている「中小企業向けの測定基礎研修会」についても、多くの参加希望をいただき、第1回目の研修会を無事終了することができました。

### はかりの定期検査業務実施状況

(令和4年11月末現在)

| 区 分    | 群馬県   |       | 前橋市   |       | 伊勢崎市 |       | 太田市  |       | 計     |       |
|--------|-------|-------|-------|-------|------|-------|------|-------|-------|-------|
| 検査戸数   | 1,352 |       | 385   |       | 155  |       | 151  |       | 2,043 |       |
| 種 類    | 検査個数  | 不合格個数 | 検査個数  | 不合格個数 | 検査個数 | 不合格個数 | 検査個数 | 不合格個数 | 検査個数  | 不合格個数 |
| 手動はかり  | 164   | 1     | 81    | 0     | 5    | 0     | 11   | 0     | 261   | 1     |
| 指示はかり  | 934   | 4     | 295   | 1     | 113  | 1     | 76   | 1     | 1,418 | 7     |
| 電気式はかり | 1,388 | 27    | 548   | 8     | 251  | 5     | 193  | 7     | 2,380 | 47    |
| 分銅・おもり | 940   | 1     | 418   | 6     | 25   | 0     | 47   | 0     | 1,430 | 7     |
| 計      | 3,426 | 33    | 1,342 | 15    | 394  | 6     | 327  | 8     | 5,489 | 62    |

### 中小企業向け測定基礎研修会

製造業において、製品の開発・設計から量産に至るまでの各ステップで、「測定」は欠かせない作業であり、「測定」によって得られたデータを基に次のアクションを起こします。

当会では、群馬県内の重要なものづくり産業の基盤である中小・零細事業者向けに科学的に体系だった教育研修の場として「測定基礎研修会」を定期的で開催・継続しております。

本年度もコロナ禍ではありますが、「3密を避け」、「マスクの着用」、「ソーシャルディスタンスの確保」など感染防止対策を講じた上、定員を絞って第1回目を行いました。

- ・実施日 令和4年11月15日(火)13:30～16:30
- ・会 場 群馬県計量検定所 2階 会議室
- ・講 師 (一社)埼玉県計量協会 計量士 栗原良一氏
- ・内 容 第1部 測定器の基礎  
第2部 長さの測定  
ノギス・マイクロメータの使い方

・修了者 16名(定員は15名)

※受講修了者には「修了証書」を交付しています。



はかりの定期検査



中小企業向け測定基礎研修

明日の地球環境を科学する企業

株式会社 群馬分析センター

水質・大気・土壌・臭気・騒音  
振動・放射能・作業環境の測定分析



〒370-0886 群馬県高崎市下大島町625

TEL 027-395-0606

FAX 027-395-0607

# ナトリウムイオン(Na+)濃度測定における原子吸光度法(AAS)とイオンクロマトグラフ法(IC)とICP発光分光法(ICP)の比較評価を行う共同実験

一般社団法人 群馬県計量協会環境分科会技術委員会一同

## 1. 目的

日本産業規格JIS K0102 48での、ナトリウム(Na)とカリウム(K)の測定は、2019年の改正に伴い、フレーム光度法、フレーム原子吸光法、イオンクロマトグラフ法の他に、新たにICP発光分光法が加わった。水質検査では、定められている基準値が水道法のみと、あまり馴染みのないナトリウムは、イオン化干渉が大きく、様々な元素の影響を受けやすい。測定自体は、水試料を希釈し、各装置にて測定する単純なものだが、その為、装置の影響が大きく関わってくる。実際にナトリウムを測定する時の干渉や問題点を挙げ、原子吸光法(AAS)とイオンクロマトグラフ法(IC)とICP発光分光法(ICP)を比較し、各装置の特性と傾向の検証を行い、今後の測定の方向性を示すべく、当技術委員会各事業所々有の装置を用い検討を行った。

## 2. 実施要領

A社～L社の計11社が参加し、測定対象物質であるナトリウムに、測定の妨害物質としてカリウム・カルシウム・酸(今回は硝酸を選択)、また測定の助剤として塩化セシウムを表1に示す条件にて添加し試料を作成、測定した。

表1. 試料の条件設定

単位:mg/L

|     | 条件1 | 条件2 | 条件3  | 条件4 | 条件5  | 条件6  | 条件7    | 条件8    |
|-----|-----|-----|------|-----|------|------|--------|--------|
| Na  | 1   | 1   | 1    | 50  | 50   | 50   | 50     | 50     |
| K   | -   | 10  | -    | -   | 5000 | -    | 5000   | -      |
| Ca  | -   | -   | -    | -   | -    | 5000 | -      | 5000   |
| 添加物 | -   | -   | 1%硝酸 | -   | -    | -    | 塩化セシウム | 塩化セシウム |

Na:ナトリウム、K:カリウム、Ca:カルシウム

## 3. 結果

原子吸光法では条件3の酸に、ICP発光分光法では条件2のカリウムに影響を受ける傾向にあり、ICP発光分光法では条件5のカリウム及び条件6のカルシウム共に影響が出たが、カリウムの方がより大きなものになった。塩化セシウムを添加することにより、特にICP発光分光法では各事業所の濃度差が収束方向に進んだ。また、原子吸光度法でも外れ値にあった値が、真値の近似値へと推移した。

測定結果の一例として、H社～L社の妨害物質の影響が大きかった条件4、5、6と収束に向かった条件7、8の結果を図1に示す。なお各条件についてt検定による有意差検定を行ったところ、各試験法に有意差はなかったことを申し添えておく。

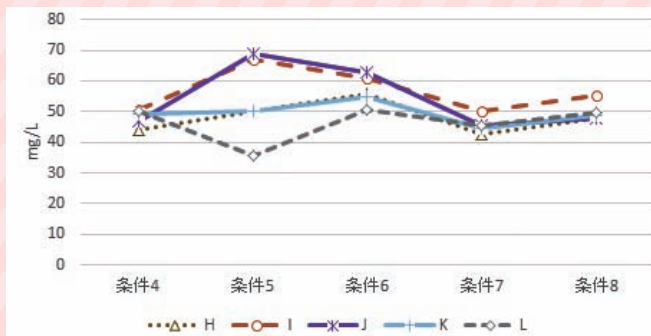


図1 ICP法(条件4、5、6、7、8)

## 4. 考察

カリウム及び酸は正の影響を受けるが、標準液の10倍のカリウムの影響は、最大で1割程度のもので、誤差範囲内と言える値が確認できた。標準の100倍濃度の妨害物質の影響は、ICP発光分光法では、カリウム、カルシウムとばらつきが出たが、ナトリウムとイオン化干渉の影響が大きいカリウムの方がより、影響を受けた。原子吸光法、イオンクロマトグラフ法、ICP発光分光法に有意差はないが、ICP発光分光法では塩化セシウムを添加したほうが、結果がより真値へと近似する結果となった。装置の状態によっては、原子吸光法、ICP発光分光法の双方とも常に塩化セシウムの添加を検討するべきと考える。

各装置は、分析する試料によっては注意すべき点が異なる所もあり、装置の理解と特性を把握し、単一の評価だけでなく、多角的な評価によって信頼性を上げていくことが重要と考える。(筆:坂本)

## 希望の星 吉澤主事の計量教習受講の所感

主事 吉澤 優人



今年の4月に群馬県計量協会に採用していただきました、吉澤優人と申します。計量の仕事は細かい決まり事が多く覚えなくてはいけないことが多いため、4月から皆様にご迷惑をおかけしながら日々勉強させていただいています。

当協会では主にはかりの定期検査に同行させていただきその業務に触れ、検査に必要な知識を皆様から教えていただいています。このはかりの検査を行うには一般計量士の資格が必要になるのですが、資格を取るためには、毎年12月に行われる国家試験に合格し1年の実務経験を積む又は茨城県つくば市の産業技術総合研究所で行われる一般計量教習を修了し2年の実務経験を積む必要があります。

一般計量教習を受講するためには、6月に実施される入所試験に合格する必要があります。そのため、4月に入職してから2か月の間勉強に集中する時間をいただき、定期検査の補助と同時に試験勉強に励みました。皆様のサポートのおかげで勉強に集中することができました。学生時代に学んだ理数系の知識を活かすことができ、試験に合格することができました。

現在私は短期計量教習を含め約半年間の計量教習に通わせていただいています。はじめは教習で学ぶことの多さに戸惑いました。はかりの検査のほかにも、計量士の核である計量法やタクシーメーターなどの様々な計量器、電気回路などの理数系と、とにかく学習量がとても多く初めて学ぶことばかりだったので講義についていくのでいっぱいでした。

計量法では、計量器ごとの検定公差や検定を行う際の手順など計量に関することが事細かに定められています。電気回路では、キルヒホッフの法則やひずみゲージの仕組みなど計量器に用いられている構造を学びます。一般計量士として検査へ行ったり、一般の方々の疑問に答えるにはこういった専門知識が頭に入っていなければいけません。これらを含めた全15科目のテストが実施され、それらすべてで合格点に満たなければ教習を終了することができません。そのため、講師に講義中に理解できなかったところを聞きに行ったり、同じ教習生と互いにわからないところを教えあうことでなんとかすべてのテストで合格点に達することができました。

テストが終わると実習が行われます。実習ではタクシーメーターや燃料油メーター、非自動はかりなど講義で学んだ事を実際に行うことで、検定などの専門的な知識をより深く理解できている実感があります。

すでに半年間の半分の月日が過ぎました。目の前のことに精一杯で日が過ぎるのがとてもはやく感じました。資格を取ることができるまで残すところあと1～2月に行われる特別計量教習と実務経験のみとなりました。なにより学ぶ専門知識が多いので、焦らず一つ一つ課題を解決し成長していきたいと考えています。一人前の計量士になるため精進していきますので、皆様のお力添えをよろしくお祈りします。

24H体制の 安心・信頼

SSの保守・メンテナンス、おまかせ下さい!!

### 株式会社ダイチトレーディング

計量機検定・SS定期点検・保守、管理

〒379-2224 群馬県伊勢崎市西小保方町336

TEL (0270) 62-8800 FAX (0270) 62-1511

HP <http://www.daiiti-k.co.jp>

関連会社 第一工業株式会社 本社 〒379-2224 群馬県伊勢崎市西小保方町336

TEL (0270) 62-1512 FAX (0270) 62-1511

東京支店 〒140-0001 東京都品川区北品川一丁目11-1 寿ビル4階

TEL (03) 6712-3931 FAX (03) 6712-3932



「 私達は、JAグループの一員として  
安全・安心・新鮮な食肉をお届けします。」

対米・対EU輸出認定施設

### 株式会社 群馬県食肉卸売市場

代表取締役社長 中里 昌弘

〒370-1104

群馬県佐波郡玉村町大字上福島1189番地

☎0270-65-2011・FAX 0270-64-5317



## 群馬県計量検定所コーナー

計量制度は秩序ある社会生活や経済活動を支える基本的な制度であり、適正な計量を確保することは、県民の安全・安心な生活や経済の発展、文化の向上に極めて重要です。

計量検定所では、正確な特定計量器を供給するとともに使用されている特定計量器から不適合品を排除するため、法令に基づき特定計量器の検定・検査、基準器の検査、計量証明検査を行っています。また、県民の安全・安心な生活を守る観点から、特定計量器の適正使用や商品量目の正量取引を確保するため、立入検査を実施しています。

### 計量制度普及啓発

#### 【はかりの工作教室】

検定所では、市町村と連携し、日頃何げなく使用しているはかりや正確な計量の大切さを理解してもらうための取り組みとして、小学生を対象に「夏休みはかりの工作教室」を開催しました。牛乳パックを利用したさおばかりを作成し、完成したさおばかりで文房具や駄菓子などの重さをはかりました。今年度の開催状況は以下のとおりです。

| 実施市町村 | 開催日      | 会 場            | 参加者数 |
|-------|----------|----------------|------|
| 前 橋 市 | 7月21日(木) | 前橋市総合福祉会館      | 8名   |
| 千代田町  | 8月2日(火)  | コスメ・ニスト千代田町プラザ | 3名   |
| 館 林 市 | 8月9日(火)  | 向井千秋記念子ども科学館   | 7名   |



前橋市の開催状況



千代田町の開催状況



館林市の開催状況

また、11月の計量強調月間の一環として、群馬県生涯学習センターと連携し、小学生を対象に「おもしろ科学教室 さおばかりを作ろう！」を開催しました。今年度の開催状況は以下のとおりです。

| 開催日      | 会 場      | 参加者数 |
|----------|----------|------|
| 11月5日(土) | 群馬県計量検定所 | 16名  |



おもしろ科学教室の開催状況

#### 【計量啓発標語】

県民の皆さんに、計量への関心や適正な計量への意識を高めてもらうため、計量啓発標語を募集しました。今年度の入選作品は次のとおりです。

「陰ながら 暮らし支える ひと目盛」 (野口 沙紀)

「正しい計量正しい表示 正しい社会はその先に！」 (中島 美咲)

**【出前啓発事業】**

各市町村が主催する消費生活展等（10月～11月）に計量検定所が出展し、計量に関するパネルクイズや重さ当てゲーム等を実施したほか、計量啓発用物品（ウェットティッシュ、パズル付き定規、クリアファイル、風船、リーフレット等）の配布を行いました。今年度の開催状況は以下のとおりです。

| 実施市町村 | 開催日       | 会場      | 参加者数                     |
|-------|-----------|---------|--------------------------|
| 伊勢崎市  | 11月1日(火)  | スマーク伊勢崎 | パネルクイズ 168名 重さ当てゲーム 191名 |
| 館林市   | 11月20日(日) | つつじが岡公園 | パネルクイズ 127名 重さ当てゲーム 302名 |



伊勢崎市の開催状況



館林市の開催状況

**自動はかりを使用されている皆さまへ**

令和4年8月5日に計量法施行令の改正が公布され、「ホップースケール、充填用自動はかり及びコンベヤスケール（以下、「自動はかり3機種」）」について、使用の制限を早期に開始すべき状況に至っていない等の状況を踏まえ、自動はかり3機種について使用の制限を5年延期する改正が行われました。

(1) 自動はかりの種類及び検定受検期限

| 自動はかりの種類   | 規制開始当初の検定受検期限                                   | R3/8/1改正後の検定受検期限                                | R4/8/5改正後の検定受検期限                                  |
|--|---|---|---|
| ○自動補足式はかり<br>ひょう量が5キログラム以下のものが検定対象。<br> | 新たに使用するはかり<br>令和4年3月31日<br>既使用のはかり<br>令和7年3月31日 | 新たに使用するはかり<br>令和6年3月31日<br>既使用のはかり<br>令和9年3月31日 | 改正なし  |
| ○ホップースケール<br>                           | 新たに使用するはかり<br>令和5年3月31日<br>既使用のはかり<br>令和8年3月31日 | 改正なし  | 新たに使用するはかり<br>令和10年3月31日<br>既使用のはかり<br>令和13年3月31日 |
| ○充填用自動はかり<br>                           |   |   |   |
| ○コンベヤスケール<br>                           |   |   |   |

※検定の受検は、取引又は証明に使用しているはかりが対象となります。

※上記4機種に該当しない自動はかり（その他の自動はかり）もあります。

(2) その他

詳しくは、経済産業省産業技術環境局計量行政室ウェブサイトに関連情報が掲載されています。  
[https://www.meti.go.jp/policy/economy/hyojun/techno\\_infra/000\\_keiryoku\\_minaoshi.html](https://www.meti.go.jp/policy/economy/hyojun/techno_infra/000_keiryoku_minaoshi.html)



## 伊勢崎市の計量行政

平成17年1月1日に旧伊勢崎市、佐波郡赤堀町、東村、境町の1市2町1村が合併し現在の伊勢崎市になりました。平成19年4月1日に特定市の指定を受け、当時の経済部商工労働課商工振興担当が特定市としての計量業務を開始しました。平成24年4月から現在までは産業経済部商工労働課消費生活センターが計量業務を行っております。

### 1. はかりの定期検査

計量法に基づき、事業所等で取引・証明に使用される特定計量器について、商品の量目の正確性と取引の適正化を図るため、指定定期検査機関の(一社)群馬県計量協会に委託し、2分割した市域に対し2年に1回定期検査を実施しております。



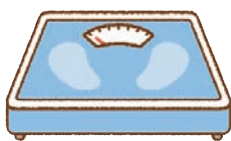
### 2. 立入検査

取引・証明に使用されている計量器について、適正使用の確認及び計量管理の徹底を図るため各事業所へ立入検査を実施し、商品量目立入検査(年2回)、LPガスメーター立入検査(年1回)、燃料油メーター立入検査(年1回)を実施しております。

### 3. 計量啓発事業

11月の計量強調月間に、市役所内にポスター及びチラシの掲示を行い、消費生活センターの窓口には計量のリーフレットを常時配架しております。

今年度は11月1日にスマーク伊勢崎で開催した「生活・安心安全フェア」において、群馬県計量検定所に協力を依頼し、計量ブースを設置し計量クイズや計量ゲーム、啓発グッズの配布などの計量啓発活動を行いました。



食品の生産・加工過程と、食品の安全性向上に貢献し、もって人の健康と好ましい生活環境を持続できる社会構造を実現する

- ・食品衛生検査及びコンサルティング
- ・家畜衛生検査及びコンサルティング
- ・環境検査
- ・各種受託試験

 株式会社食環境衛生研究所

〒379-2107  
群馬県前橋市荒口町561-21  
TEL:027-230-3411 FAX:027-230-3412  
<https://www.shokukanken.com>





## 故 顧問横田初英氏の「お別れの会」を開催



一般社団法人群馬県計量協会顧問横田初英氏（享年101歳）におかれましては、本年8月31日に永眠されました。

顧問は、昭和60年から会長職に就任し、以後18年の長きにわたり、当協会の舵取り役として団体の地位向上と県内の適正な計量の実施に尽力され、会長辞任後におかれましても名誉会長、顧問として当協会を支えていただき、今日の群馬県計量協会の礎を築き上げた方でありました。

故顧問横田初英氏の「お別れの会」は、去る令和4年10月14日(金)午後1時よりビエント高崎ビッグキューブにおいて、一般社団法人群馬県計量協会、一般社団法人群馬県計量検査センター

及び一般社団法人高崎法人会による合同の「お別れの会」を開催し、国会議員をはじめ県内外から総勢550人もの方々にご参列いただき、式典を盛大にかつしめやかに執り行いました。

ここに、生前ご厚情を賜りました関係者皆様方に深く感謝申し上げますとともに、これまでの故人の功績を披露させていただきます。



### 表彰歴（計量関係のみ一部抜粋）

|         |                             |
|---------|-----------------------------|
| 昭和58年5月 | 群馬県総合表彰（計量）                 |
| 昭和58年6月 | 計量関係功労者表彰（通商産業大臣）           |
| 平成3年10月 | 群馬県功労者表彰（計量）                |
| 平成3年11月 | 計量制度百年記念功労者表彰<br>（通商産業大臣）   |
| 平成6年4月  | 勲四等瑞寶章受賞                    |
| 令和3年11月 | 群馬県計量協会創立100周年記念<br>計量功労者表彰 |
| 令和4年9月  | 従六位拝受                       |

### 経歴（団体歴のみ一部抜粋）

|                  |                |                  |
|------------------|----------------|------------------|
| 昭和26年5月～昭和60年6月  | 群馬県度量衡会        | 理事、副会長、会長        |
| 昭和32年1月～平成22年10月 | 高崎商工会議所        | 議員、常議員、相談役、名誉議員  |
| 昭和37年5月～平成15年5月  | 群馬県計量協会        | 理事、常任理事、副会長、会長   |
| 昭和46年3月～平成8年6月   | (社)群馬県計量検査協会創立 | 常任理事、専務理事、副理事長   |
| 昭和47年5月～平成2年5月   | (社)日本計量協会      | 理事、常任理事、副会長      |
| 昭和49年5月～昭和61年1月  | 高崎法人会          | 副会長              |
| 昭和61年1月～平成4年8月   | (社)高崎法人会       | 常任理事、副会長、会長、常任顧問 |
| 昭和61年9月～平成11年5月  | (社)群馬県法人会連合会   | 理事、副会長           |
| 平成元年11月～平成15年9月  | 高崎間税会          | 常任理事、顧問          |
| 平成2年5月～平成16年5月   | (社)日本計量振興協会    | 副会長、顧問           |
| 平成2年5月～平成11年5月   | (財)全国法人会総連合    | 評議員              |
| 平成8年6月～令和4年8月    | (社)群馬県計量検査センター | 副理事長、理事長、顧問      |
| 平成15年5月～令和4年8月   | (社)群馬県計量協会     | 名誉会長、顧問          |

## 会員紹介コーナー

### ■信越化学工業(株)群馬事業所



信越化学工業株式会社群馬事業所は、昭和13年に金属マンガンを添加合金の製造からスタートし、昭和28年に国内で初めてシリコンの本格生産を開始しました。

シリコンは有機ケイ素化合物であり、多くの製品の素材、添加剤に用いられています。例えば、化粧品や衣服、食品容器や料理器具、放熱シートや電子基板保護材、住宅シーリング材など、品種は5,000種類以上に及び、まさに、生活を支える基盤材料です。

当事業所は、現在、シリコンの国内海外の製造開発の基幹拠点として、重要な任務を担っています。また、電子材料、精密材料、機能材料、新規材料などの製造開発も行っております。

計量関係では、昭和60年に適正計量管理事業所に指定され、平成13年には経済産業大臣表彰を、令和3年には群馬計量協会から功労表彰をいただきました。

現在、事業所内計量士を6名置き、特定計量器届出修理事業者の協力も仰ぎ、安心安全に製品を供給するため、日々計量管理に努めています。

### 【トピックス】

#### 新団体「関東甲信越計量団体連絡協議会」が発足



関東甲信越地区には計量協会連絡協議会と計量士連絡協議会の2つの計量団体が存在し、永年にわたり「関東甲信越地区計量団体連絡協議会」として共同で事業を実施してまいりました。

そうしたなか、計量業界を取り巻く環境は大きく変化してきているため、令和元年度からそれに適合すべく両団体の統合へ向けた検討が進められてきました。

そして、令和4年7月1日、関東甲信越10都県の計量協会及び計量士会を構成メンバーとする「関東甲信越計量団体連絡協議会」を新たに発足することが決定いたしました。

令和4年10月28日、新しい団体として、埼玉県さいたま市ホテルブリランテ武蔵野において、第1回計量大会が盛大に開催されました。

また、その際に、感謝状の贈呈式が執り行われ、当協会の副会長笹尾利昭氏が、平成18年から協会の専務理事や副会長を務めるとともに、関プロの代表者会議委員として両団体の発展に貢献したことを受賞理由として感謝状を受けられました。



# 令和4年度の計量記念日 全国统一ポスター

計量記念日とは、社会全体の計量制度に対する理解の普及を図るために昭和27年から定められたもので、現在は、現行の計量法が施行された11月1日を「計量記念日」とし、また11月を「計量強調月間」とし、計量制度の普及や社会全体の計量意識の向上を目指し、今年も全国各地でいろいろなイベントが行われました。

このポスターは、計量記念日を広く国民の方々へ周知するため、一般社団法人日本計量振興協会が作成し、全国の都道府県、特定市、計量団体及び計量関連機関等で掲示されました。



## 編集後記

今年の夏は、異常気象により県内の伊勢崎市や桐生市では気温が40度を超え、まさに想像を絶する暑さとなりました。そんな折り、当協会におきましてはとても悲しい知らせが飛び込んでまいりました。当協会の礎を築いた元会長横田初英氏が享年101歳でこの世を去られたことです。故横田初英氏につきましては、9頁にお別れの会の様子を掲載しましたが、その経歴をご覧いただければおわかりのとおり、まさに群馬県におきまして、計量だけでなく、税や産業振興など多方面にわたり大きな功績を残された方であり、その存在を失ったことは、まさに「巨星落つ」という心境でした。

群馬県計量協会にとりましては、大きな支えを失ったわけではありませんが、今後も故横田初英氏の意味を継ぎ、協会発展のため、また、県内における適正な計量管理を維持していくためにも行政と連携し、新しい時代へ向けて邁進して行こうと心を新たにいたしました。

今年が皆様にとりまして最良の年であることをお祈りいたします。

H・S





### 磯部機工株式会社 設備点検グループ

〒379-0127 群馬県安中市磯部2-13-1  
TEL:027-385-2823  
FAX:027-385-2824

圧力計：検定校正  
秤：点検校正  
安全弁：分解整備

非接触体温計  
Thermo Phase  
サーモフーズ  
MT-550/MT-550BT



皮膚に触れずに額で測定。  
医療機関をはじめとして、介護施設や訪問介護、  
家庭や学校でもお使いいただけます。  
医療機器メーカーが生産する日本製モデル。

Bluetooth 通信機能付  
MT-550BT

専用アプリ  
NISSEI HealStyle  
専用アプリに  
測定結果を素早く転送

測定距離センサ内蔵  
一定距離で自動測定

Made in Japan  
自社開発・自社生産

NISSEI 日本精密測器株式会社  
本社工場：〒377-0293 群馬県渋川市中郷 2508-13  
TEL:0279-20-2311 (代表) FAX:0279-20-2411  
ホームページ: <https://www.nissei-kkco.jp/>

### 人間活動と環境の調和・発展を希求する総合分析試験センター



# 株式会社 環境技研

〒370-3511 高崎市金古町1709-1 TEL (027)372-5111 FAX (027)372-5001  
URL <http://www.get-c.co.jp> E-Mail [info@get-c.co.jp](mailto:info@get-c.co.jp)

調査・分析のお困りごとは、何でもご相談ください



分析機器・理化学器械  
環境測定器・材料試験機

## 株式会社 新井商会

〒370-0042 群馬県高崎市貝沢町622番地  
TEL 027-362-5551 FAX 027-362-3270  
URL <http://www.arai-sk.co.jp>

はかり・POS・FA  
新しい常識を創造する。

## 株式会社 寺岡精工

群馬営業所 ☎ 027(346)6200



129<sup>th</sup>

### はかる・包む・検査する

トータルソリューションのイシダ

「はかる」に向かいつづけて129年  
世紀を越え、分野を越え、世界を越え、  
皆様のお役に立てる企業を目指して参ります。



X線異物検出装置



卓上包装機D-top-UNI

### 株式会社イシダ 群馬営業所

<http://www.ishida.co.jp>

〒370-0046

群馬県高崎市江木町1728

TEL (027) 328-0034

FAX (027) 328-2956



群馬県前橋市古市町118 〒371-0844 TEL.027-290-1800 (代)

## 大和分析センター 濃度計量証明事業所登録

TEL.027-290-1865 FAX.027-290-1897



分析器械・計量計測器を通じて  
人と人のつながりを大切にする

Humantec Union

日立・堀場理化学器械特約店



### 株式会社 ユニオン

〒370-0862 群馬県高崎市片岡町3丁目2-11

TEL 027-323-1234(代) FAX 027-323-6809

営業所 宇都宮・埼玉・川崎

Customer Excellence

～さらなる向上をめざして～

営業品目 / 分析装置・理化学機器

計装機器・実験設備

# 大木理工機材株式会社

〒370-0874 群馬県高崎市中豊岡町801 TEL 027-323-4400 FAX 027-326-6336

URL: [www.ohkiriko.co.jp/](http://www.ohkiriko.co.jp/)



**エネルギーインフラに  
新しい答えを。**

新たな価値の創造で安心・安全・効率的な  
エネルギーインフラの進化を支え、明日の社会に貢献するために。  
これから私たちは、アイデアとノウハウ、AI/IoTといった  
最新技術とエンジニアリングを結び、  
想像を超えたソリューションを次々とカタチにしていきます。  
激しい時代の変化の中、本当に必要な答えを探お客様と私たちの  
新たなリレーションが始まります。

トキコシステムソリューションズ株式会社  
前橋営業所 〒371-0847 群馬県前橋市大友町 2-15-2  
TEL. 050-3537-3946 FAX. 027-251-6050  
www.tokicosys.com

**TOKICO**  
Actuating change



地球と約束リサイクルに取り組む

**久松商事株式会社**

代表取締役 久松 一夫

前橋市北代田町691番地  
TEL 027-231-8225  
FAX 027-232-2788  
HP: <http://www.hisamatsu-syouji.com>

**環 境 分 析**  
計量証明事業 登録番号 環第43号

**有限会社 吾妻分析センター**

〒377-1308  
群馬県吾妻郡長野原町大字大津417  
TEL 0279-82-2921  
FAX 0279-82-1003



重要機密書類の処理方法は安全ですか？

**最高機密処理設備完備**  
出張細断・回収・リサイクルまで書類・古紙のご相談は

**☎0278-22-1010** 信頼の49年 ISO 9001  
沼田市屋形原町2113番地

**ウブ、カタ資源株式会社**

街の森



**TATSUNO**  
Innovation. In Reliable Services

**TATSUNO  
RESPONSIBILITY**

数々の経験と共に受け継がれる責任感。  
私たちは危険物施設の点検やメンテナンスを通じて安全と安心を提供しています。  
タツノはこれからも皆様に信頼される企業であり続けられるよう努力を重ねてまいります。

 **株式会社タツノ** 関東支店 群馬営業所  
〒370-0851 群馬県高崎市上中居町575番地2 **TEL 050-9000-5609**